

とよころ

No.67

議会だより

2011年 8月 北海道中川郡豊頃町議会発行



広報とよころ

6月定例会

第2回定例会は、6月15日から開会され、補正予算など8議案を、いずれも原案どおり可決し、21日に一般質問等を行なって閉会しました。



会計名	補正額	総額
一般会計	1億9千805万円	43億9千026万円
簡易水道会計	210万円	2億3千904万円

補正予算の主なもの

◆教育振興基金に

6、466万円

青少年育成基金、教育施設整備基金を廃止し、新たに積立

◆行政情報化推進基金に

1億円

行政情報システムの推進に要する財源として、財政調整基金を繰入れ新たに積立

◆旧茂岩河川事業所宿舍等

解体撤去に523万

今後の使用に供さない宿舍等の解体撤去に伴う費用

◆海岸漂着物処理費に

100万円

東日本大震災の漂着物を処理する経費

◆中小企業融資運用資金に

1千万円

中小企業者への融資貸付枠を拡大

◆豊小プール設計費に

450万円

老朽化した豊小プールを更新するための設計費

◆まごころ通信員等臨時

職員賃金に281万円

一人暮らしの在宅高齢者が地域社会において、安心して暮らせるよう、まごころ通信員を配置し、定期的に訪問して、お年寄りの不安解消、各種調整事務を行う

表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。

議会だより

▽6月定例会補正予算
役場だより



公平委員の任命

公平委員会委員の任期満了に伴い、現職の高田正守氏（茂岩栄町）、河原葉子氏（茂岩栄町）を選任したいと提案があり、これを同意しました。

農業委員会委員の推薦

任期満了となる農業委員会委員のうち、議会が推薦する農業委員に、現職の津久井淑恵さん（礼作別）を推薦することとしました。

条例制定等

▼豊頃町教育振興基金条例

教育施設整備基金と青少年育成基金を廃止し、合わせて教育振興基金を設置。

▼豊頃町行政情報化推進基金条例

行政情報システムの推進に要する財源に充てるため、新たな基金を設置。

▼豊頃町税条例

東日本大震災に係る雑損控除等の特例、東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例を定める法律が改正されたことから、条例の一部を改正。

▼豊頃町キャンプ場設置条例

長節湖キャンプ場のバンガロー使用料を茂岩山公園バンガロー使用料と同等に改正。

▼定住圏自立圏形成協定

十勝に暮らす住民の豊かな生活の確保と十勝の更なる発展と魅力の向上を図ることを目的に、帯広市と協定を締結する。

なお、この協定は、十勝の全町村が帯広市と締結するものである。

意見書

- ▶住民の安全・安心な暮らしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書
- ▶介護保険制度の見直しに関する意見書
- ▶義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率の復元など平成24年度政府予算編成における教育予算確保・拡充を求める意見書
- ▶地方財政の充実・強化を求める意見書

いずれも原案のとおり可決され、関係省庁に提出されました。

会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

議会日誌

〔6月〕

- 6日 議員全員協議会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 北海道町村議会議長会定期総会
↳札幌

15日 第2回定例会（1日目）

（条例制定・改正等、補正予算、その他）

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会

21日 第2回定例会（2日目）

（一般質問、その他）
議会運営委員会

〔7月〕

- 5～6日 北海道町村議会議長会主催議員研修会
↳札幌
- 12日 議会運営委員会
↳福島県相馬市
- 22～24日 相馬市野馬追祭

◎今後の予定

〔8月〕

- 2～3日 滑川市議員団来町
- 18日 町村議会広報研修
↳札幌

〔9月〕

- 中旬 第3回定例会

一般質問

消防設備について

杉野 好行議員

Q 野外放送機材が聞き取りにくい
が、更新は考えていないのか？

A 宮口町長

購入から27年経過しているので、
機材の状況によっては更新をする。

公共交通について

杉野 好行議員

Q 町運行のバス等とJRとの連絡
が午後になる地域があり、町外に行
く場合、利便性が悪いが。

A 宮口町長

交通対策検討委員会を設置して、
利便性の高い運行体制について検討
しているが、運行する患者輸送車や
スクールバスは目的をもった運行の
ため、不便を来す場合もあると考

る。また、民間業者が行うデマンド
方式バスの利用に対する経済的支援
を考えていく。

豊頃駅舎の環境について

杉野 好行議員

Q トイレの環境が特に悪いが、対
策を考えていないのか？

A 宮口町長

JR北海道と協議を進めていると
ころであり、早い時期に町で環境整
備を実施したい。



JR豊頃駅舎

大津地域の津波対策と 避難経路の確保について

杉野 好行議員

Q 平成15年の地震災害以降、どの

ような対策を実施してきたのか？

A 宮口町長

平成18年には、『大津漁港津波対
策検討委員会』が組織され、500
年に一度の大津波を想定した協議を
してきた。平成20年に『大津地区防
災対策関係機関連絡協議会』を開催
し、「自主防災組織」を立ち上げ現
在に至っている。

Q 大津地区住民との意見交換は、
どのように行ってきたか？

A 宮口町長

隔年実施の防災訓練の際に地域の
方と協議を行っているが、今後も更
に協議を行って行きたい。

Q 現在、大津地区の避難場所は、
大津コミセンとなっているが、大津
波を想定し、鉄塔などにより屋上に
避難できるようにしてはどうか？

A 宮口町長

大津コミセンの2階を超える津波
は想定しにくい。現在の施設である
程度の津波には対応できる。

Q 避難経路確保のための、道路改
修は？

A 宮口町長

避難経路である道道は過去の地震
等の影響を受けており、早期改修、
拡幅、嵩上げ等の陳情を行っていく。

CO2削減と電力使用を 抑える取り組みについて

杉野 好行議員

Q 町管理施設においてLED化を
進める考えは無いのか？

A 宮口町長

現状では、取り組みは進んでいな
いが、今後は、計画的に実施してい
く。

防災対策について

大谷 友則議員

Q 今後も大きな地震、津波が予想
されるので、長期的な防災計画を考
えて行かなければならないと思うが、
どのように考えているか？

A 宮口町長

今年度中に津波ハザードマップを
作製する予定。これにより、避難場
所などを検討し、地域防災計画の修
正を行う。また、港の浚渫土砂の有
効利用で、築山を造成中。

Q 避難道路の拡幅、嵩上げにつ
いて取り組むべきでは？

A 宮口町長

平成15年の地震以降、町の主要案
件事項として、道に要望している。今
後も積極的に国、道に陳情していく。
Q 耐震化に対応していない避難所



があるようだが？

A 宮口町長

大きな避難施設については、耐震化を進めている。農村部の小さな避難所については、一時的な避難場所と考えているため、現状のまま使用する。

Q 平成9年度に配布されたハザードマップには、津波避難場所として、トンケシと記載されているが、現在の避難所大津コミセンとの整合性は？

A 宮口町長

現段階、大津地区内では、大津コミセンと大津小の2階が最も安全な避難場所と考えている。交通手段のある方は、できるだけ海から遠くの高台に避難していただきたい。また、トンケシについては、釣り人などの方々の避難場所としては無理があると考ええる。

Q 今回の地震で津波警報と避難指示が出て、大津地区の多くの方が避難したが、10時頃には自宅に戻った方も多く、その後に最大津波が観測されている。このことについて、対策が必要と思われるが？

A 宮口町長

いままでの経験の中で、それぞれが判断し帰宅したと思われるが、今後は安全を確認してから帰宅すること

とを原則として地域の方と協議していききたい。

Q 災害対策物資の備蓄はどうなっているか？

A 宮口町長

大津地区の避難所には、水防機材、食料等を備蓄している。今後においても十分な対応をしていく。

命を守るための 防災対策について

長谷川勝夫議員

Q 東日本大震災から3カ月、町はどのような対策をしてきたのか？

A 宮口町長

今年度、津波ハザードマップの作製を検討している。マップの内容が固まった時点で、避難等について地域の方と協議を進めたい。



大津地区津波被害 (23.3.11)

Q 避難経路の確保として、国道36号までの十勝川堤防を拡幅できないか？

A 宮口町長

堤防は、河川計画に基づき整備されている。ハザードマップの作製の中で避難経路を検討していく。

Q 命を守るために住民が正しい知識を得るための施策が必要と思うが？

A 宮口町長

今回の東日本大震災の教訓を受けて、今後、徹底的に地域の方と協議し、安全について話し合っていきたい。

Q 地域の「自主防災組織」との連携については？

A 宮口町長

災害時には、できるだけ行政が責任を持って環境整備をして行くが、地域の方との連携は絶対に必要で、今後も行政区長等の協力をいただき、自主防災組織と連絡網等を徹底していきたい。

中央区コミュニティセンターの利用について

長谷川勝夫議員

Q 利用についてはどのような状況か？

A 宮口町長

昨年は、老人クラブ、子ども会など、71件延べ1,000人以上が利用しており、地域の施設としては利用が多いと考えている。



中央区コミュニティセンター

Q 建築時の利用目的に葬祭も含まれていたはずだが、実際には、豊頃コミセンを利用しているのは？

A 宮口町長

葬儀の際には、豊頃コミセンが使用されている。中央区からは距離的にも問題がなく、利用しやすい施設を使っていたらと考えられている。